

平成30年度 公共事業 再評価 対象事業一覧表

資料 1

(くらし・環境部所管事業)

単位(事業費)：百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回再評価時点からの比較			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所の選定 選定の視点					特記事項	担当課				
					評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		費用対効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	1事業のみ	①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模			④事業費変更等	選定結果		
						上段：前回又は着手時	下段：今回																			上段：前回又は着手時	下段：今回
						上段：前回又は着手時	下段：今回																			上段：前回又は着手時	下段：今回
1	静岡県	公営住宅整備事業	県営住宅 いまきばんち 今沢団地	沼津市	H25 (前回)	H25～H32	3,136	事業採択 (H25)後 5年が経過	—	—	—	◎	◎	継続	安全確保、福祉的役割、地域波及効果及び政策誘導効果が認められ、予定どおり進捗していることから、事業継続とする。	○	—	—	—	—	◎	国 県	55% 45%	公営住宅課			
					H30 (今回)	H25～H32	3,136		1,814	57.8%	0.87																

(交通基盤部所管事業)

単位(事業費)：百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回再評価時点からの比較			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所の選定 選定の視点					特記事項	担当課				
					評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		費用対効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	1事業のみ	①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模			④事業費変更等	選定結果		
						上段：前回又は着手時	下段：今回																			上段：前回又は着手時	下段：今回
						上段：前回又は着手時	下段：今回																			上段：前回又は着手時	下段：今回
2	静岡県	道路改良事業	いっばんくどう 一般国道362号本川根～静岡バイパス	川根本町	H25 (前回)	S56～H34	24,000	再評価実施 (H25)後 5年間経過	20,548	85.6%	0.91	◎	◎	継続	・平成30年度に算出した費用対効果は1.0を下回る結果となるが、残事業に対する費用対効果及び供用済区間の便益を考慮した費用対効果は、ともに1.0を上回る結果が得られた。 ・費用対効果に現れない効果として、救急医療への寄与、防災対策及び事前通行規制区間の解消、観光産業支援など、事業効果は高いことから事業継続とする。	—	○	—	○	—	◎	国 県	50% 50%	道路整備課			
					H30 (今回)	S56～H34 (変更なし)	24,000 (変更なし)		20,605 (+57)	85.8% (+0.2%)	0.86																
3	静岡県	道路改築事業	いっばんくどう 一般国道414号静岡バイパス	沼津市	H25 (前回)	H6～H39	30,000	再評価実施 (H25)後 5年間経過	9,677	32.3%	3.73	◎	◎	継続	・本事業は、慢性的な渋滞の緩和や、災害時の代替道路としての活用、またバイパスの整備とともに新たな工業団地が整備されるなど、事業効果が高い。 ・事業も順調に進捗していることから、事業継続とする。	—	—	—	○	—	◎	国 県	55% 45%	道路整備課			
					H30 (今回)	H6～H39 (変更なし)	30,000 (変更なし)		16,142 (+6,465)	53.8% (+21.5%)	2.55																
4	静岡県	道路改築事業	いっばんくどう 一般国道469号御殿場バイパス	御殿場市	H26 (採択時)	H26～H39	2,700	事業採択 (H26)後 5年間経過	—	—	—	◎	◎	継続	・本事業は、平成32年度に新東名高速道路や国道138号バイパスと一体となって開通が予定され、広域道路網を形成する重要な事業である。 ・事業も順調に進捗していることから、事業継続とする。	—	—	—	—	—	◎	国 県	55% 45%	道路整備課			
					H30 (今回)	H26～H39 (変更なし)	2,700 (変更なし)		1,277	47.2%	1.22																
5	静岡県	道路改築事業	いっばんくどう 一般国道473号大代かまくら 拡幅	島田市	H26 (採択時)	H26～H39	3,500	事業採択 (H26)後 5年間経過	—	—	—	◎	◎	継続	・本事業は、国道1号島田金谷バイパス4車線化事業の大代インターチェンジの改良と一体的に実施し、道路ネットワークの強化を図る重要な事業であり、産業・観光活性化へ寄与する。 ・事業も順調に進捗していることから、事業継続とする。	—	—	—	—	◎	国 県	55% 45%	道路整備課				
					H30 (今回)	H26～H39 (変更なし)	3,500 (変更なし)		287	8.2%	1.74																
6	静岡県	道路改築事業	いっばんくどう 主要地方道焼津森線	藤枝市	H25 (前回)	H21～H27	2,800	再評価実施 (H25)後 5年間経過	1,561	55.8%	4.43	◎	◎	継続	・本事業は、現況2車線を4車線に拡幅し、主要幹線ネットワークの強化を目的とした重要な事業である。 ・平成24年に新東名が開通し、平成28年度には国が国道1号藤枝バイパスの4車線化工事に着手するなど、東西方向の主要幹線の整備が進んでいる。当該区間は、新東名・東名をはじめとする東西方向の広域ネットワークを南北に連絡する主要幹線として更に重要度が高まっている。 ・用地は99%以上取得済みであり、工事も順調に進捗していることから事業継続とする。	—	—	—	—	○	◎	国 県	55% 45%	道路整備課			
					H30 (今回)	H21～H31 (変更あり、+57%)	3,196 (変更あり、+14%)		2,936 (+1,375)	91.9% (+36.1%)	3.27																
7	静岡県	道路改築事業	いっばんくどう 一般県道富士停車場伝法線	富士市	H25 (前回)	H21～H30	1,915	再評価実施 (H25)後 5年間経過	180	9.4%	4.28	◎	◎	継続	・本事業は、慢性的な渋滞が課題となっている富士市街地の渋滞緩和に大きく寄与する。 ・隣接する街路事業区間が平成32年度の供用に向け、順調に事業が進捗している。 ・ネットワークとしての機能を果たすためには、当該区間の完成供用が必要不可欠であるため、事業継続とする。	—	—	—	—	◎	国 県	45% 55%	道路整備課				
					H30 (今回)	H21～H35 (変更あり、+50%)	1,915 (変更なし)		333 (+153)	17.4% (+8.0%)	4.09																
8	静岡県	道路改築事業	いっばんくどう 一般県道袋井小笠線	掛川市	H26 (採択時)	H26～H30	650	事業採択 (H26)後 5年間経過	—	—	—	◎	◎	継続	・本事業は、合併により掛川市となった旧大須賀町と旧掛川市の一体性を実現するため、それぞれの中心部を連絡する道路の安全で円滑な交通確保を目的とする。 ・当該区間の前後は整備済みであり、当該区間についても用地取得は完了していることから事業継続とする。	—	—	—	—	◎	国 県	50% 50%	道路整備課				
					H30 (今回)	H26～H32 (変更あり、+40%)	650 (変更なし)		298	45.8%	1.27																

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要		再評価理由	前回再評価時点からの比較			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定 選定の視点					特記事項 事業費 負担割合	担当課					
					評価時期	計画期間		全体事業費	事業費	進捗率		費用対効果	事業の 必要性	進捗の 見込み	対応方針 (案)	理由	1事業 のみ	①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模			④事業費 変更等	選 定 結 果			
						上段：前回又は着手時		上段：前回又は着手時																	上段：前回	上段：前回	上段：前回
						下段：今回		下段：今回																	下段：今回	下段：今回	下段：今回
9	静岡県	高潮対策事業	あまづしほ 沼津半臥海岸	沼津市	H26 (採択時)	H26~H38	3,120	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業による施設整備は、レベル1津波から地域住民の生命・財産を守るものであり、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	○	-	◎	国 50% 50%	河川海岸整 備課				
					H30 (今回)	H26~H38	3,120		826	26.5%	33.93																
10	静岡県	高潮対策事業	しずおか 静岡海岸	静岡市	H26 (採択時)	H26~H44	2,837	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業による施設整備は、レベル1津波から地域住民の生命・財産を守るものであり、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	○	-		国 50% 50%	河川海岸整 備課				
					H30 (今回)	H26~H44	2,837		757	24.3%	4.26																
11	静岡県	高潮対策事業	まがらすき 相良須々木海岸	牧之原市	H26 (採択時)	H26~H58	9,010	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業による施設整備は、レベル1津波から地域住民の生命・財産を守るものであり、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	○	-		国 50% 50%	河川海岸整 備課				
					H30 (今回)	H26~H58	9,010		1,089	12.1%	4.30																
12	静岡県	通常砂防事業	なはいのかわ 大日川	賀茂郡 南伊豆町	H26 (採択時)	H26~H29	184	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業は、土石流から保全対象である人家7戸、一般県道南伊豆松崎線及び町道前田線を守るため砂防堰堤を一基整備するものである。 事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○		国 50% 50%	砂防課				
					H30 (今回)	H26~H32 (変更あり、+75%)	350 (変更あり、+90%)		227	64.9% (+64.9%)	1.46																
13	静岡県	通常砂防事業	なかやつにしざわ 中谷津西沢	静岡市	H26 (採択時)	H26~H30	227	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業は、土石流から保全対象である人家75戸、幼稚園、善応寺及び市道山原梅ヶ谷線を守るため砂防堰堤を一基整備するものである。 事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	-		国 50% 50%	砂防課				
					H30 (今回)	H26~H31 (変更あり、+20%)	217 (変更あり、-4%)		167	77.0% (+77.0%)	10.65																
14	静岡県	地すべり対策事業	くちかもと 口坂本	静岡市	H25 (前回)	S63~H30	9,582	再評価実施 (H25)後 5年間経過	9,319	97.2%	2.33	◎	◎	継続	本事業は、地すべりから保全対象である市営温泉浴場や人家等17戸、県道井川湖御幸線及び県道南アルプス公園線を守るため、地下水排除工等の地すべり防止施設を整備するものである。 今後、事業は順調に進捗する見込みであり、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	○	-	◎	国 50% 50%	砂防課				
					H30 (今回)	S63~H35 (変更あり、+16%)	10,336 (変更あり、+8%)		9,731	94.1% (-3.1%)	2.23																
15	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	みづがし 水落	伊東市	H26 (採択時)	H26~H30	264	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業は、がけ崩れから保全対象である人家14戸、市道末広・柄杓沢線を守るため、擁壁工等の災害防止施設を整備するものである。 今後、事業は順調に進捗する見込みであり、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○		国 47.5% 地元 5%	砂防課				
					H30 (今回)	H26~H35 (変更あり、+100%)	264 (変更なし)		60	22.7% (+22.7%)	2.18																
16	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	たけはら 竹原	伊豆市	H26 (採択時)	H26~H30	385	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業は、がけ崩れから保全対象である人家12戸、国道136号、県道葦山伊豆長岡寺線を守るため、擁壁工等の災害防止施設を整備するものである。 事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	-		国 45% 地元 10%	砂防課				
					H30 (今回)	H26~H32 (変更あり、+40%)	278 (変更あり、-28%)		195	70.1% (+70.1%)	4.50																
17	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	なががし 長岡左近山	伊豆の国市	H26 (採択時)	H26~H30	250	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業は、がけ崩れから保全対象である人家22戸、病院、県道伊豆長岡三津線を守るため、擁壁工等の災害防止施設を整備するものである。 事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○		国 47.5% 地元 5%	砂防課				
					H30 (今回)	H26~H34 (変更あり、+80%)	350 (変更あり、+40%)		219	62.6% (62.6%)	11.88																
18	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	こまみ 小海No.2	沼津市	H26 (採択時)	H26~H30	312	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業は、がけ崩れから保全対象である人家10戸、公民館、市道5074号線を守るため、擁壁工等の災害防止施設を整備するものである。 今後、事業は順調に進捗する見込みであり、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○		国 45% 地元 10%	砂防課				
					H30 (今回)	H26~H33 (変更あり、+60%)	312 (変更なし)		170	54.5% (54.5%)	1.80																
19	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	しもとのせとやま 下柳瀬戸山	富士宮市	H26 (採択時)	H26~H30	243	事業採択 (H26)後 5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	本事業は、がけ崩れから保全対象である人家11戸、市道大久保下柳瀬線を守るため、擁壁工等の災害防止施設を整備するものである。 事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	-		国 45% 地元 10%	砂防課				
					H30 (今回)	H26~H31 (変更あり、+20%)	267 (変更あり、+10%)		181	67.8% (67.8%)	1.47																

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要		再評価理由	前回再評価時点からの比較			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項	担当課				
					評価時期	計画期間		全体事業費		事業費		進捗率	費用対効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点								
						上段: 前回又は着手時		下段: 今回	上段: 前回又は着手時									下段: 今回	1事業のみ	①社会的注目度等			②計画変更等	③事業規模	④事業費変更等	選定結果
						上段: 前回		下段: 今回	上段: 前回									下段: 今回	1事業のみ	①社会的注目度等			②計画変更等	③事業規模	④事業費変更等	
20	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	さかもと坂本	静岡市	H26(採択時)	H26~H30	500	-	-	-	・未相続箇所の用地取得や保安林解除の調整に不測の時間を要し、完了年度を延伸した。	◎	◎	継続	本事業は、がけ崩れから保全対象である人家20戸、市道坂本半ノ地線、市道坂本川久保2号線を守るため、擁壁工等の災害防止施設を整備するものである。今後、事業は順調に進捗する見込みであり、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○	国 45% 県 45% 地元 10%	砂防課				
					H30(今回)	H26~H35 (変更あり、+100%)	600 (変更あり、+20%)	202	33.6% (33.6%)	2.84																
21	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	ときがや 時ヶ谷ナガウタリ	藤枝市	H26(前回)	H21~H28	371	179	48.2%	4.15	・湧水対策による法面工の増工により全体事業費が増えた。	◎	◎	継続	本事業は、がけ崩れから保全対象である人家32戸、公民館を守るため、擁壁工等の災害防止施設を整備するものである。事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	国 45% 県 45% 地元 10%	砂防課				
					H30(今回)	H21~H32 (変更あり、+50%)	589 (変更あり、+63%)	458 (+279)	77.8% (+29.6%)	2.30																
22	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	うはがや 姥ヶ谷	島田市	H26(採択時)	H26~H30	273	-	-	-	-	◎	◎	継続	本事業は、がけ崩れから保全対象である人家16戸、宿泊施設を守るため、擁壁工等の災害防止施設を整備するものである。事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	国 47.5% 県 47.5% 地元 5%	砂防課				
					H30(今回)	H26~H32 (変更あり、+40%)	247 (変更あり、-10%)	166	67.2% (67.2%)	2.40																
23	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	たかほやほなのき 高林花ノ木	浜松市	H26(採択時)	H26~H30	454	-	-	-	・施工ヤードとして借地する学校用地の作業時間の制約により、当初計画の年度あたり事業延長での施工ができず、完了年度を延伸した。	◎	◎	継続	本事業は、がけ崩れから保全対象である人家11戸、高等学校を守るため、擁壁工等の災害防止施設を整備するものである。今後、事業は順調に進捗する見込みであり、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○	国 45% 県 45% 地元 10%	砂防課				
					H30(今回)	H26~H36 (変更あり、+120%)	454 (変更なし)	205	45.2% (45.2%)	4.01																
24	静岡県	港湾整備事業(小型船溜り整備事業)	しみずこ 清水港	静岡市	H25(前回)	H20~H30	6,557	1,639	25%	1.18		◎	◎	継続	本事業は、観光交流の拠点として地域振興に欠かせないものであり、静岡市と連携して整備を進めている。漁業関係者や観光関係者の寄せる期待も大きいことから事業継続とする。	-	-	-	○	-	◎	国 40% 県 45% 地元15%	港湾整備課			
					H30(今回)	H20~H35 (変更あり、+50%)	6,042 (変更あり、-8%)	3,311 (+1,672)	55% (+30%)	1.15																
25	静岡県	高潮対策事業	しまなみ 浜名港海岸	湖西市	H26(採択時)	H26~H34	900	-	-	-		◎	◎	継続	本事業による海岸保全施設の整備は、想定される地震に伴う津波に対し、沿岸住民の生命・財産を守り、重要な役割を担っており、費用対効果も認められ、津波対策に対する地域住民の要望も非常に大きいため、事業継続とする。	-	-	-	-	-	国 50% 県 50%	港湾整備課				
					H30(今回)	H26~H34 (変更なし)	900 (変更なし)	341	37.8%	1.74																
26	静岡県	街路整備事業	ふじ 都市計画道路 本市場大測線	富士市	H25(前回)	H11~H30	6,543	5,039	77.0%	1.26		◎	◎	継続	富士市中心市街地から市内北部を結ぶ、主要な幹線道路として、岳南都市圏の主要拠点である高速1C(新富士1C)や交通結節点(富士駅、新富士駅)へのアクセス機能を担う重要な路線である。費用対効果も認められ、用地買収及び工事も順調に進捗していることから、事業を継続し早期完成を図る。	○	-	-	-	-	◎	国 55.0% 県 30.0% 市 15.0%	街路整備課			
					H30(今回)	H11~H32 (変更あり、+1%)	6,730 (変更あり、+3%)	6,370 (+1,331)	94.7% (+17.7%)	1.16																

※1 「変更理由等」欄は、全体事業費の変動が3割を超える場合、計画期間の変動が5割を超える場合に記入する

※2 「評価の視点」欄は、「継続が妥当」→◎、「見直しにより継続が妥当」→○、「継続は妥当ではない」→×

○代表説明事業選定の視点

- ・以下の点に基づき代表箇所を選定する。
- ・なお、①、②に該当する場合には、複数となっても必ず選定する。
  - ① 社会的に注目されている、課題が大きいなどの箇所(B/C=1未満など)
  - ② 事業計画を変更または中止する箇所
  - ③ 事業規模が大、事業期間が長い箇所
  - ④ 計画時又は前回再評価時と著しく事業費・計画期間、効果が異なった箇所  
(事業費は3割を超えて増加している場合、計画期間は5割超えて延長している場合など)